

令和4年度3学期始業式式辞

県立西宮甲山高等学校

校長 早川 千也

おはようございます。令和5年が始まりました。そして、今日から3学期が始まります。皆さん冬休みは有意義に過ごせましたか。この冬にスノーボードやスキーに行った人はいますか。この画像を見てください。(雪中のウサギの足跡の画像表示) もしかしたら、スノーボードやスキーに行って、リフトに乗っていて、これを見た人がいるかもしれませんね。これは、ウサギの足跡です。このウサギは画面上から下へ移動しています。丸い点々二つが前足、長い棒状の跡が後ろ足です。前足の跡より前に、後ろ足の跡がありますね。これは、ウサギのはねかたが、前足をついて、その前に長い後ろ足が着地し、その後ろ足で大きく蹴って前に進むためにこのようになります。つまり、この図のようにウサギが飛び跳ねるので、(ウサギが飛び跳ねる連続画像表示) 足跡がこのようになるのです。ちなみに前足は、交互に右か左を前に出すので、縦に並んだ足跡になっています。

さて、今年の干支(えと)は何ですか。ここまで話をしてきたので、まさかもう忘れたという人はいませんよね。うさぎですね。ウサギってどんな生き物ですか。そう、耳が長くて、白くてモフモフで、ぴょんぴょん跳ねるかわいい動物ですね。(白いウサギの画像表示) 種類によっては最大で時速 80km で走ることができるそうです。一般的に鳴き声はあげません。だから静かなので、ペットとしても人気があるそうですが、人にはなつきにくいようです。先ほど、白いって言いましたが、茶色やグレーのウサギなどもありますね。(薄茶色のウサギ画像・グレーのウサギ画像表示)

ところで、2年生と3年生は修学旅行で奄美大島に行きましたね。1年生は今年の秋に行きますね。奄美大島にはアマミノクロウサギがいますね。(コクトくん画像表示の奄美市のゆるキャラは「コクトくん」と言って、アマミノクロウサギと奄美大島の特産物の黒糖にちなんだキャラクターです。また、クロウサギを漢字で書くと黒兎(こくと)とも読めますね。アマミノクロウサギは奄美大島と徳之島にしかいません。国の特別天然記念物に指定されていて、絶滅危惧種でもあります。(アマミノクロウサギの画像表示) 夜行性の動物で、穴を掘って子育てをして、エサをとりに行くときは、親ウサギは穴に子供を残して穴の出入り口を土などでフタをしていくそうです。アマミノクロウサギの天敵は奄美大島にはハブくらいしかいませんが、最近人間が持ち込んだマングースやネコに襲われたりするそうです。マングースはハブ退治のために人間が島に持ち込んだそうですが、ハブを襲うことはほとんどなく、アマミノクロウサギを襲ったりするそうです。(舗装された道の上のアマミノクロウサギの糞の画像表示) この写真は、この前の修学旅行で見たアマミノクロウサギの糞です。2年生で、私と一緒に班別行動をした人は見ましたよね。木の実や木の皮などを食べるので、糞はくさい匂いがしないとこのとき地元の方に教えてもらいました。ちなみに、もともと天敵はハブくらいだったので、ハブに襲われることを警戒して、夜にこのような開け

たところに出てきて糞をする習性があるそうです。ところが、それがアダになって、暗い夜に道路に出てきて糞をするものだから、交通事故に遭ってしまって、それもアマミノクロウサギの数が減っている原因になっているそうです。マングースやネコに交通事故、人間の営みがアマミノクロウサギを危機にさらしているということのようですね。私たちの甲高も自然に囲まれています、自然を壊さないように気をつけなければなりませんね。

(アマミノクロウサギの画像表示) 見たとおりですが、アマミノクロウサギは黒いですね。それから、耳も長くないですね。また、後ろ足も他の種類のウサギと比べると短いのがわかるでしょうか。後ろ足が短いので、速く走ることはできません。奄美大島には大型の肉食獣がいなくて、天敵はハブくらいだったので、北海道や本州、四国、九州のウサギに比べて、襲われる心配が少ないため、警戒する必要が少ないので耳が長くならなかったり、速く走る必要がなかったりしたようです。そのかわり、さっきも話しましたが穴を掘るのが得意だそうです。

アマミノクロウサギは色が黒くて、耳が短くて、足も遅くて、他のウサギとは随分違いますね。でも、れっきとしたウサギの仲間です。いろいろなウサギがいるということですね。私は、ヒトの社会にも同じようなことが言えるような気がします。いろいろなウサギがいるようにヒトにもいろいろな人がいます。耳が短くても、走るのが遅くてもウサギはウサギです。ヒトも、速く走れる人は速く走ればいいし、ゆっくりしか走れない人はゆっくりでもいい。時には、穴を掘って隠れたっていいかもしれません。いろいろなことが、すぐに上手にできる人はそれでいいし、いろいろなことをするのに時間がかかる人はそれでもいい。時には止まってもいいし、どうしてもつらいときは隠れてもいいと思います。ただ、隠れてもいつかは穴から出てきて、少しずつでもいいから前に進んでほしいと思います。

みなさん、速くてもゆっくりでもどちらでもいいから、自分にできるペースで、今年1年確実に前へ進みましょう。